

■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	橋本駅北口第1自動車駐車場他5施設
指定管理者名	ギオン・野村不動産パートナーズ・富士ダイナミクス グループ (構成団体:株式会社ギオン、野村不動産パートナーズ株式会社、株式会社富士ダイナミクス)
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日
施設設置条例	相模原市営自動車駐車場条例、相模原市営自動車駐車場条例施行規則
施設の設置目的	中心市街地の道路交通の円滑化を図り、市民の利便に資するとともに、都市機能の維持及び増進に寄与するため。
施設概要	橋本駅北口第1自動車駐車場、橋本駅北口第2自動車駐車場、相模原駅自動車駐車場 相模大野立体駐車場、小田急相模原駅自動車駐車場、相模大野駅西側自動車駐車場
施設所管課	都市建設局 土木部 路政課

2 管理実績

項目 (単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数合計 (人)	1,531,907	1,642,492	1,664,760
利用料金合計 (円)	654,091,945	728,295,500	721,996,750
修正回転率 (時間)	1.97	2.21	2.14

3 成果指標の達成度

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価点 (20点満点)	評価点
評価 (5評価)	D	C	C		3.3

指標	
指標名 (単位)	自動車駐車場の年間利用台数(二輪自動車を除く)(台)
指標式と指標の説明	年間利用台数を目標として運営状況を確認する

項目 (単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値 (台)	2,046,452	2,046,452	2,046,452
実績値 (台)	1,531,907	1,642,492	1,664,760
達成度 (%)	74.9%	80.3%	81.3%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	A		15

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
なし	—	—

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
なし	—	—

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
定期券自動更新機サービス導入事業	窓口に抛らず、24時間定期券更新を可能とした。	全施設で稼働し、3年で合計12,700回以上利用された。人件費の削減やコロナ禍における非対面型への対応に寄与した。
車椅子及びジャンプスタータの貸出事業	車椅子及びジャンプスタータの貸出	合計で車椅子は3年で合計89回、ジャンプスタータは39回の貸出が行われた。
駐車場空き情報のWebサイトでの提供事業	駐車場空き情報のWebサイトで確認ができるようになった。	空き情報が確認できるようになり、市民サービスの向上に寄与した。
飲料自動販売機事業	自動販売機を駐車場に設置するもの	市民サービスの向上を図るとともに、3年合計で350万円以上の売り上げがあり、財源の確保にも寄与した。

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価点 (20点満点)	評価点
	S	S	S		20

利用者満足度調査

調査手法	利用者へのアンケート調査を実施(駐車中の車両への配布、回収箱への自主投入による回収、ポケットティッシュ・筆記用具の手渡しによる配布、事前精算機・エレベータ内への配備。年度により実施方法は異なる)
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「どちらかといえば満足」の合計割合

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値（％）	80.0	80.0	80.0
実績値（％）	89.5	89.0	90.2
達成度（％）	111.9%	111.3%	112.7%

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
ご意見箱の設置	各施設へのご意見箱常設による利用者の意見受付及び意見への対応実施などに努めているもの。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
橋本駅北口第二における二輪駐車定期利用車枠の増設	利用希望に対して慢性的に不足していた定期利用の2輪車枠を増設を行った。施設の構造的な理由から出入口渋滞の要因となっていた出入口車路隣接の4輪車枠の転用により、併せて渋滞緩和にもつながった。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	S	S		18

施設の収支概要

(千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入 (a)	327,818	343,253	368,586
指定管理料	294,624	305,751	313,016
利用料金収入の5%相当額	32,247	36,416	36,100
その他の収入	947	1,086	19,470
支出 (b)	328,937	328,293	342,205
人件費	155,968	138,753	132,703
施設管理経費	141,593	157,946	177,657
本社管理経費	30,000	30,000	31,355
その他の支出	1,376	1,594	490
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	-1,119	14,960	26,381
自主事業収入 (d)	3,749	2,825	2,777
自主事業支出 (e)	1,324	709	644
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	2,425	2,116	2,133
全体収支 【(c)+(f)】	1,306	17,076	28,514
備考			

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	有	有	無
主な加点内容	新型コロナウイルス感染症に伴う人員配置体制の整備等	新型コロナウイルス感染症に対する適切な対応	

8 指定管理者の自己評価

今期事業は、COVID-19ウイルスの世界的パンデミックと共に始まり、それがようやくに終息傾向となる途上にて満了を迎える、まさに直接間接の影響を避け得ない3年間であったが、防衛措置により駐車場従事者の集団感染や施設のクラスター化は生じず、縮小営業や最終的事態として想定していた開放無料営業などは回避され、期間を通じて通常営業を確保することが出来た。

しかしながら、人流抑制策の実施などにて提案した自主事業の幾つかは断念せざるを得ず、初年度2020年の夏前を予定した「定期券自動更新機」の稼働も国際的部品供給網の混乱から同年度末となり、また料金収入の大幅減収は、運営インセンティブに設定された5パーセント割戻分の予算割れを招き、これの一部を投資財源と考えていた「満空情報Webサービス」の同年度中の稼働を見送る要因ともなった。(行動制限下の利用減少には不要不急のサービスと考えられたこともある)

加えて、今期には予定されていなかった24時間開場営業が2021年度からの施行とされ、深夜帯利用者対応のコールセンターの設定や電気料金の負担などの経費増分の捻出には配置シフトや人員数を含む運営体制の総体的見直しを要するところとなったものの、結果的にはこれが功を奏し、2021年度は勿論、ロシアリスクから電気料金が大幅に高騰した2022年度においても1千万円規模の黒字達成となって利用者還元に寄与できたばかりか、市営駐車場としてサービス確保を踏まえた上での24時間開場運営にかかわる多様な独自ノウハウを得られた事は大きいと感じている。

9 所管課意見

本指定管理期間は、当初から新型コロナウイルス感染症が拡大し、外出自粛やテレワークの定着等により、駐車場駐車料が大きく減少した。しかしながら、全体収支としては毎年利益を計上し、利益還元として施設のLED工事を行うことで、場内が薄暗いといった利用者の声に対応いただくことが出来た。新型コロナウイルス感染症対策に関しても、感染防止策をしっかりと行ったことで、クラスターの発生等もなく、施設運営を継続していただいた。

また、募集時には予定になかった施設の24時間運営について、現場での人員配置や運営方法を工夫し、現状の指定管理料の中で実現していただけたことは、指定管理者の企業努力の賜物として非常に評価できる。

さらに、カーシェアリング事業の導入や、定期券自動更新機期の導入など、これまで無かったサービスを自主事業として導入したことは、新たな利用者の獲得や、利用者サービスの向上に貢献していただいたものとして評価している。

そのほか、台風や大雪等の対策や、市との連絡調整等についても、常に迅速で真摯に対応いただいた。指定管理者として、市営自動車駐車場の利用価値を高めていただいたものと考えている。

10 選考委員会意見

3年間の指定管理期間全体において、自動車駐車場の指定管理運営については良好に履行されていたといえる。今回の指定管理期間の3年間は、コロナ禍の真っ只中であり、運営に苦慮された点が多かったかと思われるが、大きな事故・問題等を発生させることなく、運営を続けられたことを評価する。

成果指標については、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく影響したこともあって、目標を達成することができなかったと考えられるが、年々数値は上昇しており、着実に利用者数が増加している。

指定期間中の新たな事業として、カーシェアリングなどの収益化事業や、駐車場空き情報のWebサイトによる情報提供を開始し、利便性向上に繋がる新規事業の開拓を行ったことは評価できる。また、外販事業の拡充による回数券販路の開拓など、既存の事業の拡充についても継続して実施している点が評価できる。

利用者の満足度についても、指定管理期間全体において達成度が非常に高く、利用者寄り添った運営が行われた点は評価する。

施設の経営状況について、新型コロナウイルスの影響もあり、令和2年度は本体事業収支が赤字となったものの、それ以降は利用者が求める事業を展開することにより、本体事業収支、自主事業収支ともに黒字となっていることに加え、団体本体の経営状況に特段の問題はなく、企業努力により健全な運営がなされている点は高く評価できる。

管理業務の履行状況については、履行管理チェックシートを基に、市が施設の管理状況を確認した結果、いずれの検査項目についても適正に実施されていた。また、令和3年度には施設の入出場を24時間化するにあたり、適正な管理を継続できるよう、勤務体制を効率化する工夫をされている。また、施設への還元として積極的に推進しているLED化は、利用者からの要望も多く、的確にニーズを捉えた事業展開が行われているものと評価できる。

総合評価（自動判定）

A

(75/100)

